

議案1

2007年事業・活動報告(2007年3月3日～2007年12月31日)

■法人の設立までの経緯

2006年6月、夕張市の財政破綻が表面化しました。この影響で、10月21日に石炭博物館が休館、11月27日には博物館を運営していた第三セクターの(株)石炭の歴史村観光が自己破産するなど、観光施設の一つとして維持されてきた石炭博物館(および関連施設)は存続の危機に陥りました。

同時期に夕張市は、石炭博物館をはじめとする公共施設・観光施設の売却先または指定管理者の募集を開始しましたが、応募する者がいるかは未知数でした。

石炭博物館は、単に夕張市だけの施設ではなく、北海道の石炭産業の歴史を表象する施設であり、空知産炭地域で活動している市民団体にとっても、かけがえのない貴重な中核的施設でした。そのため、何としても存続を模索しようという機運が高まってきました。

石炭博物館の指定管理者として応募する準備を整えるため、2007年1月19日に空知産炭地域の市民団体を糾合した炭鉱の記憶再生事業団(任意団体)を設立するとともに、同団体を母体にNPO法人を設立すべくNPO法人炭鉱の記憶推進事業団設立発起人会を夕張市で開催しました。

任意団体は、1月31日に、夕張市に対して石炭博物館の指定管理者として申請しました。その申請書には、単に夕張市の施設を維持したり産業遺産記念物として残すというだけでなく、過去の反省を踏まえて、新たな概念と機能を具体化できる体制の下で運営されるべきであるという運営方針を示しています。

その基本をなすのは、①北海道の歴史を伝える《教育文化施設》の位置づけ ②夕張だけではなく空知再生のモデルとなる《市民自治的な仕組み》 ③空知産炭地域が連携するための《中核的な場》としての機能であり、空知各地域の市民活動をベースにした運営体制を前提としていました。

2月13日、石炭博物館の指定管理者に加森観光(株)が内定したため、団体の活動内容を、緊急避難的な措置として石炭博物館に特化していたものから、本来目指すべき空知産炭地域での市民活動の連携を強く意識したものへと内容を再構築しました。

この方針変更を受けて、3月3日に設立総会を開催し、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団はスタートしました。3月6日に道へ認証申請書を提出し、約2ヶ月の縦覧期間を経て、5月28日付で認証書が交付され、6月4日に法人登記が完了しました。

なお、当NPO設立の母体となった任意団体は、所期の目的を達したため、団体定款に従って全ての資産(郵便振替口座残高118,026円)を4月2日に当NPOへ移行しました。

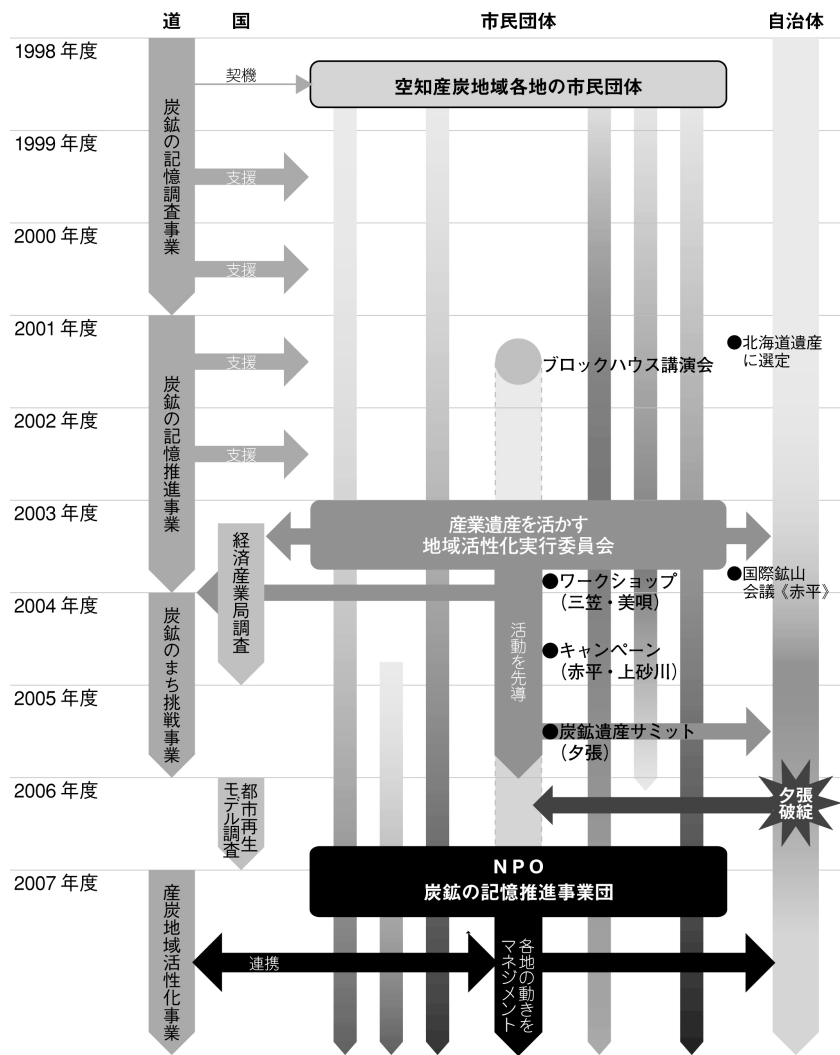
■法人の成立基盤

このように、当NPOの設立にあたっては、石炭博物館の再建活動が引き金となったことは確かです。しかし、私たちの活動は、夕張市の財政破綻により応急的に開始されたのではなく、その活動の基盤は、ここ十年にわたり空知産炭地域で展開されてきた市民活動にあります。

空知産炭地域での産業遺産市民活動は、1998年度から北海道空知支庁が推進した炭鉱遺産を



テーマとする地域再生に向けた支庁独自事業が契機となっています。その後、管内・管外の各地で市民活動が、右図のように重層的に展開されてきました。私たちのNPOは、これら市民活動を、夕張市財政破綻を契機に糾合したものであり、実質的な活動の系譜は10年来の実績を持っています。



■2007年の活動報告

2007年3月3日の設立から12月31日までの304日の活動期間中に、理事が社会的な活動を行った日数は延べ175人日です。この活動によって、約3,000人が当会主催の活動に参加したり、理事の講演・フィールドワークガイドなどを通じて活動の一端に触れました。

【出版事業】

NPOによる炭鉱遺産叢書の第一弾として、「石炭博物館ガイドブック」を2008年3月に刊行すべく作業を進めています。刊行した書籍は、夕張市内の宿泊施設・観光関連施設を中心に無料配布する予定です。

【炭鉱マスター検定事業】

炭鉱遺産への関心を呼び、炭鉱遺産を理解するための知識を普及するため、炭鉱マスター検定試験の実施を企画し、現在は各地検定試験の情報収集や分析と、実施内容や方法を検討しているところです。

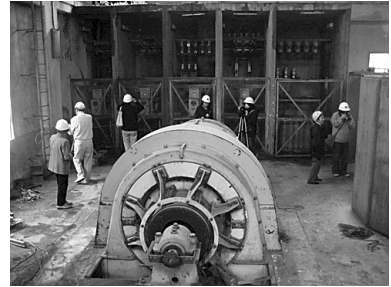
この検定試験は、「北海道観光マスター検定試験」や「おたる案内人観光マイスター試験」など道内で実施されている〈ご当地検定試験〉と連動して上位資格取得の際の適格検定試験として認定されるよう、関係機関と調整を進めています。

【炭鉱遺産ツアー事業】

財政破綻を契機に全国的な注目を浴びた夕張市では、視察・フィールドワークのガイド、夕張市内での催事開催の協力など依頼が多く発生し、青木副理事長を中心に対応しました。

10月20日の近代化遺産の日の前後に全国一斉施設公開が行われていますが、当NPOでも空知支庁とタイアップして、管内各地の団体に呼びかけ、近代化遺産の日の関連事業を展開しました。

特にその中核的な事業として、10月20日に三笠市の住友奔別立坑(スキップ立坑巻室)の見学会を開催しました。閉山後36年を経て初めて公開された立坑には、約100名の見学者がありました。



11月11日からは、赤平市をフィールドとする学生ワークショップがスタートしました。民間で道の駅を展開しようとする「寄り道の駅」の社会実験の一環として、札幌市立大学・札幌市立高専の学生(10名)が担当するロゴデザイン作業を当NPOがコーディネートするもので、今後は空知産炭地域で「寄り道の駅」が広域展開することによって来訪者の回遊促進と地域内外の知識交流が期待されます。現在、約3週間の間隔で学生との打合せ会議を開催しており、2008年2月の社会実験に向けて作業を進めています。



【石炭博物館学術支援事業】

3月18日に石炭博物館の価値の中核をなす模擬坑道の現況調査を、三上理事をはじめとする元住友赤平鉱の坑内技術者によって実施し、新たに指定管理者となる加森観光㈱に対して、保全策を提言しました。



3月から4月初旬にかけて、石炭博物館の機能維持と価値の向上を目指して、博物館としての学術機能を当NPOが一部担当することについて、運営会社の夕張リゾート㈱に提案し協議して

きましたが、互いに設立初年度であり見通しが不透明なこともあって、残念ながら合意に至りませんでした。

夕張リゾート㈱への運営移管によって手薄になった炭鉱資料の保全、大学や公的機関などの調査協力には、当NPOとして出来る限り協力しました。

11月24日～25日には、夕張市内の市民団体連絡組織であるゆうばりフロンティアネットワークによる一連事業の一環として、当NPOが主管となって「友子フォーラム in 夕張」を開催しました。初日のフォーラムには約60名が参加し、炭鉱の伝統的な相互扶助制度である友子による地域再生について展望しました。



【市民団体連携事業】

理事が各種の会合や催事に積極的に参画することによって、市民団体間や各界の専門家とのネットワークの構築を図りました。

3月15日～17日には、NPO軍艦島を世界遺産にする会の坂本道徳理事長が、三笠市で開催された都市再生フォーラムへ参加のため来道、当会役員・会員と交流し、今後とも互いに連携を取り合うことが確認されました。

5月13日には、空知支庁の「空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議」がスタートしました。ドイツ・ルール地域で産炭地振興策として大きな成果を挙げた「IBAエムシャーパーク」を参考にしながら、空知産炭地域において地域最大の固有資源である炭鉱遺産を生かした地域政策を樹立しようという支庁の独自事業です。空知版IBAとも言えるこの事業内容は、当NPOの設立目的に合致したものです。吉岡理事長が戦略会議委員長・炭鉱遺産調査会議座長に就任し、炭鉱遺産調査会議には青木副理事長・三上理事・伊佐治理事が、景観調査会議には植村副理事長がメンバーとして加わっています。平均して半月単位で開催される一連の会議に積極的に関与しました。

空知産炭地域の青年会議所が主体となって9月9日に夕張市で開催された「賛炭フェスティバル」では、展示ブースを出展し活動をPRしました。

また、本部の所在する夕張市では、市内の市民団体の連合組織である「ゆうばりフロンティアネットワーク」に加盟し、他の団体との連携を図っています。



議案2

2007年収支決算報告、監査報告

2007年 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2007年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	10,000		
銀行預金	212,494		
郵便振替口座	127,732		
	流動資産合計	350,226	
2 固定資産	0		
	固定資産合計	0	
	資産合計		350,226
II 負債の部			
1 流動負債	0		
	流動負債合計	0	
2 固定負債	0		
	固定負債合計	0	
	負債合計		0
	正味財産		350,226

2007年 その他事業会計 財産目録

2007年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産	0		
	流動資産合計	0	
2 固定資産	0		
	固定資産合計	0	
	資産合計		0
II 負債の部			
1 流動負債	0		
	流動負債合計	0	
2 固定負債	0		
	固定負債合計	0	
	負債合計		0
	正味財産		0

2007年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2007年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	10,000		
銀行預金	212,494		
郵便振替口座	127,732		
	流動資産合計	350,226	
2 固定資産	0		
	固定資産合計	0	
	資産合計		350,226
II 負債の部			
1 流動負債	0		
	流動負債合計	0	
2 固定負債	0		
	固定負債合計	0	
	負債合計		0
III 正味財産の部			
1 設立時資金有高		0	
2 当期正味財産増加額		350,226	
	正味財産合計		350,226
	負債および正味財産		350,226

2007年 その他事業会計 貸借対照表

2007年12月31日現在

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産	0		
	流動資産合計	0	
2 固定資産	0		
	固定資産合計	0	
	資産合計		0
II 負債の部			
1 流動負債	0		
	流動負債合計	0	
2 固定負債	0		
	固定負債合計	0	
	負債合計		0
III 正味財産の部			
1 設立時資金有高		0	
2 当期正味財産増加額		0	
	正味財産合計		0
	負債および正味財産		0

2007年 特定非営利活動に係る事業会計 収支計算書

2007年3月3日～2007年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目	金 額	備 考
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	634,000	運営会員32名、一般会員105名
2 事業収入	371,055	講演・ガイド276,955、物販他94,100
3 寄付金収入	169,256	任意団体から資産継承118,026
4 補助金収入	0	
5 その他事業からの繰入金	0	
経常収入合計①	1,174,311	
II 経常支出の部		
1 事業費		
出版事業	41,987	旅費交通費18,060、通信費9,490
炭鉱マスター検定事業	3,940	旅費交通費3,940
炭鉱遺産ツアー事業	487,518	旅費交通費204,195、消耗品76,536
石炭博物館学術支援事業	114,494	旅費交通費61,620、旅費日当15,000
市民団体連携事業	45,260	旅費日当35,000、旅費交通費9,680
事業費小計	693,199	
2 管理費		
旅費交通費	38,260	理事会等旅費
会議費	473	会務打合せ会議喫茶代
消耗品費	13,696	事務用品
備品費	0	
印刷費	61,657	パンフレット・名刺印刷
通信費	300	郵券代
諸会費	0	
賃借料	3,150	会議室賃料
支払手数料	13,350	
役員報酬	0	
設立費用	0	
管理費小計	130,886	
経常支出合計②	824,085	
当期収支差額	③=①-②	350,226
設立時資金有高	④	0
次期繰り越し収支差額	③+④	350,226

2007年その他事業会計 収支計算書

2007年3月3日～2007年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

単位:円

科 目	金 額	備 考
I 経常収入の部		
経常収入合計①	0	
II 経常支出の部		
経常支出合計②	0	
当期収支差額	③=①-②	0
設立時資金有高	④	0
次期繰り越し収支差額	③+④	0

2007年活動日誌

月	日	内 容	場 所	事業区分						担当役員			
				出版	検定	ツアー	博物館	連携	会務	吉岡	青木	植村	他の理事・監事
3	3	NPO設立総会	夕張市						●	●	●	●	●佐藤・熊谷・奥山・伊佐治・三上・山田
	3	北海道炭鉱遺産ファンクラブ設立フォーラム	札幌市					●	●				
	6	釧路支庁くしろの産業遺産フォーラム	釧路市					●			●		
	9	北海道遺産交流会議	札幌市					●	○		●		
	13	NPO法人認証申請書を空知支庁に提出	岩見沢市						●	●			
	13	空知支庁観光フォーラム	岩見沢市						○	●	●		
	13	空知支庁との打合せ	岩見沢市			●			●				
	14	夕張リゾート西田社長との打合せ	札幌市				●		●				
	16	NPO軍艦島を世界遺産にする会坂本理事長との懇談会	岩見沢市					●	●		●	●伊佐治・三上	
	17	三笠炭鉱遺産フォーラム	三笠市					●	●		○	●伊佐治	
	18	模擬坑道現況調査	夕張市				●		●	●		●熊谷	
	23	旭川開発建設部天塩川を活かした地域づくりフォーラム	名寄市					●				●	
	25	第1回運営委員会	岩見沢市						●	●	●		
	27	連合基金説明会	夕張市						●		●		
29	北海道経済部の夕張再生フォーラム	夕張市					●	○	●		○伊佐治		
29	夕張リゾート西田社長との打合せ	夕張市				●		●					
4	4	夕張リゾート西田社長との打合せ	札幌市				●		●				
	7	住友石炭炭業山口部長との打合せ	赤平市				●		●		●	●伊佐治	
	18	都市環境デザイン会議縮小都市研究会ヒアリング	夕張市				●			●			
	21	NPO税務研修講座	札幌市						●	○			
	28	夕張フロンティアネットワーク会議	夕張市					●		●			
	30	活動打合せ	夕張市						●	●	●		
5	9	空知支庁幹部に炭鉱遺産市民活動についてレクチャー	岩見沢市					●	●				
	13	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議	夕張市					●	●				
	19	NPOの総合パンフレットが完成し各所に配布	-						●	●			
	30	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産WG)	札幌市					●	●				
6	1	空知支庁からNPO認証指図書書の交付	岩見沢市						●	●			
	1	札幌法務局岩見沢支所でNPO登記申請	岩見沢市						●	●			
	4	札幌法務局岩見沢支所でNPO登記申請(修正)	岩見沢市						●	●			
	4	北海道教育大学札幌校教員夕張フィールドワーク	夕張市				●			●			
	6	岩見沢税務署・空知支庁に法人設立届出書を提出	岩見沢市						●	●			
	9	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(現地調査)	夕張市他					●	●	○		○伊佐治	
	9	ワーカーズコープ夕張シンポジウム	夕張市				●			●			
	15	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産WG)	札幌市					●	●				
	18	北海道教育大学札幌校新入生研修フィールドワーク	夕張市				●			●			
	20	活動打合せ	夕張市	●	●	●			●	●			
20	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(景観WG)	岩見沢市					●	●					
22	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(現地調査)	赤平市他						●	●		○	○伊佐治	
7	7	地質調査所資料の移設作業	夕張市				●			●			
	11	札幌ロータリークラブ例会	札幌市					●	●				
	11	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(景観WG)	岩見沢市					●	●				
	18	第1回理事会	夕張市				●		●	●	●	●佐藤・三上	
	19	そらち食と観光ステップアップ推進会議	岩見沢市				●		●	●	●		
	20	道教委北炭鹿ノ谷倶楽部調査	夕張市				●			●			
	24	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産WG)	札幌市					●	●				
	25	住友石炭炭業山口部長との打合せ	赤平市				●		●				
	25	夕張青年会議所事業講演	夕張市					●		●			
	26	全国地域情報化推進セミナー2007	札幌市					●			●		
	28	自由学校「遊」フィールドワーク	夕張市				●			●			
	31	北海道大学小沢准教授を現地案内	三笠市				●		●			●伊佐治	
	8	4	夕張まちづくりフォーラム	夕張市				●			●		
5		宮城県高校社会科教員研修会	夕張市				●			●			

月	日	内 容	場 所	事業区分						担当役員				
				出版	検定	ツ ア ー	博 物 館	連 携	会 務	吉 岡	青 木	植 村	他の理事・監事	
8	9	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産WG)	札幌市					●		●				
	9	龍谷大学青木ゼミタ張調査ヒアリング	夕張市				●				●			
	17	夕張市民会館を再生する会委員会	夕張市					●			●			
	26	夕張市民会館清掃作業	夕張市					●			●		●	佐藤
	29	奔別立坑公開のための住友石炭業との現地打合せ	三笠市			●					●			
9	3	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(景観WG)	札幌市					●		●				
	7	そらち食と観光ステップアップ推進会議	岩見沢市			●		●			●	●		
	8	市民メディアサミット夕張ワークショップ	夕張市			●		●			●	●		
	9	賛炭フェスティバルにブース出展	夕張市			●		●			●	●		
	10	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産調査会議)	赤平市					●			●			●伊佐治・三上
	16	キャンペーン実施打合せ	札幌市			●					●			●伊佐治
	16	ゆうばり観光協会事業講演	夕張市					●			●			
	20	新聞労連全国大会シンポジウム	夕張市				●				●			
	22	都市環境デザイン会議夕張フィールドワーク	夕張市			●					●	●		
	23	都市環境デザイン会議夕張ワークショップ	夕張市			●					●	○		
	24	都市環境デザイン会議現地視察	三笠市他			●					●			●伊佐治
	26	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産WG)	札幌市					●			●			
26	そらち食と観光ステップアップ推進会議視察	赤平市他			●					●	●			
28	夕張フロンティアネットワーク会議	夕張市					●			●				
10	1	北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	札幌市					●		●				
	4	北海道開発局おむすび通信座談会	札幌市					●			●			
	8	JR北海道主催の北海道遺産セミナー	小樽市			●		●		●				○伊佐治
	16	札幌市立大学上遠野教授を現地案内	三笠市			●				●				○伊佐治
	16	日本キリスト教会フィールドワーク	夕張市			●					●			
	18	北海道炭鉱遺産ファンクラブ炭鉱遺産ツアー	夕張市他			●				●				
	19	住友奔別立坑公開準備作業	三笠市			●					●			●伊佐治
	20	住友奔別立坑公開	三笠市			●					●			●伊佐治
	20	北海道開拓の村講演会	札幌市					●			●			
	21	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(地域連携会議)	美唄市他					●			●			○伊佐治・三上
	29	北海道技術士会観光研究会	札幌市					●			●			
29	NPOキャリア教育プロデュース出版テキスト監修	夕張市				●				●				
11	2	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議CIS研究所ヒアリング	夕張市				●	●			●			
	5	松下政経塾、北方住宅研究所ヒアリング	夕張市				●				●			
	11	赤平学生ワークショップ	赤平市			●				●		●		●三上
	13	NPO総合保険締結	札幌市						●		●			
	15	NPO教育キャリアプロデュース三上理事長と打合せ	札幌市				●			●				
	15	北海道工業大学卒論ヒアリング	夕張市				●				●			
	19	富良野塾公演第一回調査ヒアリング	夕張市				●				●			
	20	北海道炭鉱遺産ファンクラブ高橋事務局長と打合せ	札幌市					●			●			
	20	赤平学生ワークショップ	札幌市			●				○		●		
	21	企業局各県担当者会議映像上映	夕張市			●					●			
	24	友子フォーラムin夕張	夕張市			●					●	●		○伊佐治・山田
25	友子フォーラムin夕張(ワークショップ)	夕張市			●				○	●	●			
30	市民クラブ生協講演	札幌市			●					●				
30	夕張フロンティアネットワークフォーラム	夕張市					●				●			
12	6	赤平学生ワークショップ	札幌市			●				○		●		
	10	日経CNBC「産業遺産」番組制作協力	夕張市				●				●			
	12	富良野塾公演第二回調査ヒアリング	夕張市				●				●			
	13	大夕張ダム調査ドローン事業打合せ	夕張市				●				●			
	14	北海道経済部産業観光検討委員会	札幌市			●					●			
	17	赤平学生ワークショップ	札幌市			●						●		
	23	第2回運営委員会	岩見沢市						●		●	●		
26	空知支庁炭鉱遺産活用戦略会議(炭鉱遺産調査会議)	美唄市					●			●	●			